

桜も夢も大きく育て

豪雨で枯れた並木復活へ 朝倉で植樹

昨年7月の九州北部豪雨で被災して枯れた桜並木をよみがえらせようと、朝倉市の国指定史跡「三連水車」そばの水路に9日、桜の若木41本が植樹された。地元の小生たちが参加し、将来の夢を書いた紙を「一緒に成長して」との願いを込めて根元に埋めた。

児童19人、願い書き埋める

現場は三連水車の約300メートル上流にある堀川用水の左岸。地元の住民団体「桜並木育成会」が1996年にサクラを植樹し、毎年打ちなどをして育ててき

た。ところが昨年の豪雨で根元が土砂に覆われ、枯れてしまったという。植樹は公益財団法人・緑進協会（福岡市）の主催。植樹に先立つ式典で、朝倉



願いを書いた紙を若木の根元に埋める児童（手前） 朝倉市

市の林裕二市長が「美しい桜でにぎわいを取り戻したい」とあいさつした後、約300メートルわたって、高さ4メートル前後のソメイヨシノの若木41本を植えた。

「プロバスケットの選手」「医者」「ドラマー」。スコップを手にした朝倉市立朝倉東小学校の6年生19人が、こんな将来の夢を書いた紙を根元に一緒に埋めた。

「水泳選手」と書いた井上穂乃花さん（11）は、九州北部豪雨で自宅の一部が被災した。「植樹でふるさとが元に戻るようであらう。サクラの成長とともに私の夢もかなってほしい」。桜並木育成会の益永道弘会長は「完全に元通りにするのは難しいけれど、美しいふるさとが戻ってくるのがうれしい」と目を細めた。（徳山徹）

九響奏者と共演 700人を魅了

糸島市吹奏楽団

糸島市を拠点に活動する糸島市吹奏楽団の第26回定期演奏会（同市、朝日新聞社など後援）が9日、市内の伊都文化会館大ホールで開催された。

楽団は1993年10月、「前原市吹奏楽団」として発足。2010年、糸島市



九響の鈴木浩二さんとテューバ協奏曲を演奏する糸島市吹奏楽団 伊都文化会館

誕生で改称した。高校生から60代まで糸島市や福岡市などの奏者約40人で編成。年1回の定期演奏会や吹奏祭、地域のイベントなどで演奏している。

この日は、楽団代表の田

北九州の2人 全国大会

朝日アマ将棋名人戦 北部九

福岡市博多区で9日開かれた、第42回朝日アマチュア将棋名人戦（朝日新聞社主催）の北部九州ブロック大会で、県代表として出場した北九州市小倉南区の会社員西谷明雄さん（44）と、前年ブロック代表で同市小倉北区の会社員金子俊さん（24）が全国大会への切符を手にした。

西谷さんは2015年にブロック代表にもなった実力者。今大会は初戦を勝ち、決勝で大分県代表の早咲誠和さん（45）と対局した。終盤、相手が勝負を決

中孝さん（61）らのラシックと、デッサンやアニメのテーマを披露。九州交響の共演でV・ウーのテューバ協奏し、約700人の大きな拍手を受け

め急いだのを逃がすことができた。大会は3年ぶりと対局できるの、まずは1勝し、「ほしい」と抱負した。金子さんは準とも持ち前の粘り取めた。2年連続代表で、昨年ト8。「自分がある将棋で、1めたら」と話した。一方、福岡市学1年玉木健さんと同市早良区の間春樹さん（14）